

(別紙 1)

## 森林環境学習会について

### 1 目的

本県の森林を良好な状態で次代に引き継いでいくためには、児童・生徒をはじめ県民一人ひとりの森林・林業に対する理解を深めることが重要であることから、児童・生徒及び未就学児等を対象に、森林・林業について学ぶ機会を提供するもの。

### 2 内容

#### (1) 樹木観察等

- ・森林・林業に関する講座や森林内で行う観察会等
- ・各学校等の要望に応じた訪問指導を予定
- ・各学校等につき原則 1 回（日） 1 クラス程度での対応を予定

#### (2) 森のクラフト体験等

- ・間伐材等を利用した木工・クラフト体験等
- ・各学校等の要望に応じた室内講義や現地指導を予定

### 3 指導者

指導内容に応じて指導者（森林インストラクター、いわて森の達人等）を派遣します。

### 4 報告期限

令和 8 年 5 月 13 日（水）

### 5 留意事項

- (1) 森林環境学習会の実施回数は 25 回を予定しており、実施希望数の合計が実施予定回数を超過した場合は、希望に添うことができない場合があります。
- (2) 実施の可否については、5 月下旬に、学校等に対し通知します。
- (3) 校外・園外等での活動を希望される場合には、各学校等において児童・生徒等の移動手段（バス等）の準備が必要となりますので御留意ください。

#### 令和 8 年度「森林環境学習会」実施スケジュール（予定）

令和 8 年 4 月上旬	募集案内
5 月中旬	実施希望報告
5 月中旬	事業委託業者決定（森林整備課）
5 月下旬	実施の可否について通知（森林整備課→学校等）
5 月下旬以降	学校等と委託業者間での調整

(別紙2)

## 森林環境学習会活動事例

地域性・活動時間・対象学年に応じて、様々な活動を想定しております。

	内 容	
1	学年・人数 全学年 21名 時期・場所 8月下旬 校庭 活 動 内 容 父母を交えた全校の野外体験学習。児童に木の実を用意してもらい、苔、木質素材、石、砂でミニチュア箱庭作りを行いました。	 
2	学年・人数 小学5、6年 14名 時期・場所 10月上旬 観察の森 活 動 内 容 観察の森で植物や生物を使って観察。木の実などを採取し、森のお弁当作りをしました。	 
3	学年・人数 小学1、2年 23名 時期・場所 11月上旬 学校周辺 活 動 内 容 学校周辺の森林を歩きながら、様々な葉の形や色の違いなどを観察し、自然とふれあうことの楽しさを味わいました。	

### 【参考】学習指導要領における森林環境教育にかかわる内容（小学校）

教 科	学 年	内 容
生活科	1・2年	自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりについて考え、自然を大切にすること
理 科	3年	身の回りの生物を探したり育てたりする中で、成長のきまりや体のつくり、環境とのかかわりをとらえる
	4年	動物の活動や植物の成長と環境のかかわりをとらえる
	5年	植物の発芽から結実までの過程、流れる水の働きと土地の変化をとらえる
	6年	植物の養分と水の通り道、生物と環境の関わりをとらえる
	3～6年	野外に出掛け地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を多く取り入れるとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うようにすること
社会科	5年	森林の育成や保護に従事している人々の役割、森林資源の分布や働きと役割をとらえる
道 徳	5・6年	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする
総合的な学習の時間	1～6年	自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動など体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること